

地元出身「浜田山関」登場！

8月1日、杉並区立方南小学校では、方南二丁目町会（会長・松崎敏光・62歳）主催の子供相撲大会に、杉並区出身の浜田山関など3人の力士が駆けつけ、大会を盛り上げました。

府中の大国魂神社をはじめ、8月1日は八朔祭りとして、五穀豊穡や天下泰平を願って奉納相撲が行われています。方南二丁目町会の子供相撲大会も40年以上の歴史があり、子どもたちの元気な姿を地域住民が見守り続けています。その歴史あるイベントに、平成20年から今年で7回連続登場しているのが、芝田山部屋（元横綱大ノ国親方）所属の浜田山関です。

浜田山関（本名・吉田敬志・22歳）は、杉並区立浜田山小学校から区立向陽中学校へと進み、中学卒業と同時に高井戸駅近くの芝田山部屋へ入門しました。四股名は、生まれ育った地元「浜田山」の地名から付けられました。いま、大相撲界は豪栄道の大関昇進と、その口上に「大和魂を貫いて」が話題となっています。浜田山関も、名古屋場所では自己最高位の序二段東十五枚目で5勝2敗の成績を残し、9月場所ではさらに番付を上げることが確実です。

浜田山関は、身長171cm体重90kgと、相撲の世界では決して大きな体格ではありませんが、子どもたちから見ると、ちょんまげ姿のおすもうさんは、大きく強く見えることでしょう。しかし、人前では決して絶やさない笑顔が、子どもたちにも地域の方々にも大人気。浜田山関の母親が、町会内の高齢者施設に勤務していたことが縁で、入門の翌年の平成20年の夏から、この相撲大会へ来るようになりましたが、地域の方々も毎年会えるのを楽しみにしています。

8月1日午後5時、区立方南小学校体育館では、5歳から中学生までの約70人の子どもたちが集まりました。まずは、まわし姿の浜田山関をはじめ大清峰太郎、蘆隆山竜斗の3人の力士が登場し、四股や股割などの準備運動を行いました。その後、学年や性別毎に取り組みが生まれ、個人戦・勝ち抜き戦が行われ、多くの家族や地域の方々子どもたちのかんばりに、会場からは大きな歓声や拍手が沸き起こっていました。



松崎会長は、「浜田山関はじめ芝田山部屋の協力で、相撲大会を大いに盛り上げてもらっています。自分たちの相撲でも、もっともっと上を目指して頑張ってもらいたい。」と話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

総務部広報課 03-3312-2111